



ベトナムのワイン事情

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
所長 山田 太一

1. ベトナムワインの歴史

ベトナムワインの歴史は、フランス植民地時代（1887年～1954年）に始まり、フランス人のワイナリー工場「ラファエロ」でワイン製造の技術がダラットに持ち込まれたことが起源、と伝えられています。ダラット市は標高1,500mの高原地帯にあり、1年中気温が涼しくワイン作りに最適な環境とされています。その後、フランス統治時代が終わると、ダラット市のあるラムドン省がワイン生産会社を買取り、ラムドン省株式会社(LADOFOODS)を設立したことで、ワイン製造技術が受け継がれました。ダラットはワインの産地として一躍有名になり、現在ではダラットワインはベトナムワインの代名詞となりました。

2. ダラットワイン

ダラットワインは桑の実を配合したフルーティーで爽やかな味わいが特徴で、ベトナム料理に合わせたワイン作りを行っているためベトナム料理の魚醤ヌックナムによく合います。

ダラットワインはダラットのお土産としても人気があり、相場は1本100,000VND～200,000VND(600円～1,200円/1VND=0.006円換算)と安価です。おすすめは、前述のLADOFOODS社独自ブランドのシャトーワイン、サングリアです。日本にも輸出されており日本国内でも購入は可能です。



人気銘柄はヴァン・ダラット(Van Dalat)で、赤と白があり、さっぱりとしたクセのない味わいが特徴です。また、シャトー・ダラット(Chateau Dalat)は品種改良を重ねて栽培されたブドウを原料に作った本格派ワインで、2017年にベトナムで開催されたAPEC首脳会議の席で各国首脳に提供されたことでその名が広がり、現在では「APEC Collection」という銘柄も販売されています。

LADOFOODSは現在ではベトナム国内最大のワイン会社で、独自ブランドを持ち、世界各国にダラットワインを輸出しています。

ダラットでは同社のワイナリーを見学することができ、2019年に作られた充実した設備（地下ワイナリー、1階ワインセラー、2階テイastingルーム）で実際に試飲をすることができます。現在ではこうしたワイナリーがダナン、ムイネーなどベトナムの他の都市にも広がっています。

3. ワイン消費量の動向

ベトナム国内のワイン消費量は、経済成長と所得水準の向上による中間消費者層の拡大を背景に年々増加傾向にあります。ベトナム人の多くは安価なビールを好み、それ以外のワインや韓国焼酎、日本酒の市場は極めて限定的ですが、2023年4月、ベトナムの人口が1億人を突破したこともあり、将来的な飲酒対象者向けマーケットは大きく成長する可能性があります。

外国産ワインの輸入国別で見ると、輸入額1位はチリで、2012年のFTA締結により関税が引き下げられたことから、チリ産ワインが大量に市場に流通するようになりました。

ホーチミン市内2店舗のスーパー、コンビニエンスストアで実際に売られている外国産ワインの様子については以下の通りです。



【ホーチミン市内のコンビニエンスストア】

- ・ベトナムワイン、オーストラリアワインが陳列されている。
- ・オーストラリアワインの価格は399,000VND(≒2,394円)



【ホーチミン市内のアンナムグルメ(高級スーパーマーケット)】

- ・ベトナムワイン、チリワイン、フランスワインが陳列されている。
- ・チリワイン、フランスワインの価格は360,000VND～770,000VND(≒2,160円～4,620円)

外国産ワインは、ウイスキーや日本酒など他の種類のアルコール飲料に比べて安価に購入できるため、店頭には価格が安いグレードのチリ産ワイン、フランス産ワインが数多く取り扱われており、ベトナムにおける中間消費者層向けの価格帯が一般的です。

フランス統治下から始まったベトナムワインの歴史ですが、現在その味わいは本場にも劣らないものになりつつあります。ぜひ、みなさんも一度ご賞味ください。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容については利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp